

## 第 22 回中国地方ダム等管理フォローアップ委員会

### 苫田ダム定期報告書の総括

- 「第 22 回中国地方ダム等管理フォローアップ委員会」において、「苫田ダム定期報告書」の審議を行った。
- 審議は、「防災操作（洪水調節）、利水補給、堆砂、水質、生物、水源地域動態」について、平成 21 年度から平成 25 年度までの期間を主な対象として行った。
- 審議された各項目のうち、「防災操作（洪水調節）」については、概ね所期の機能を発揮しているが、今後も引き続き、適切に管理・運用し、防災操作を行われたい。
- 「利水補給」については、概ね所期の機能を発揮しているが、今後も適切な管理・運用を行い、所要の利水補給を行われたい。
- 「堆砂」については、堆砂量が計画値を下回っており、大きな問題は生じていない。今後も、引き続き測量等の調査を実施し、適切な管理・運用を行われたい。
- ダム下流河川の粗粒化については、魚類・底生動物等への影響も考えられるため、引き続き注視されたい。
- 「水質」については、利水者からの苦情等の問題は顕在化していないが、外部負荷および内部負荷による影響により、富栄養化の進行が懸念される。今後は、水質調査計画の策定を通じて、適切な水質調査を実施し、適切な管理・運用を行われたい。
- 「生物」については、生息・生育状況に大きな変化は見られていないが、今後も調査を継続し、魚類・植物等の生息・生育状況の把握に努められたい。
- カジカガエルなどのロードキル対策等、保全対策の効果発現のために、ダム管理者が速やかに対応できる対策から、適宜取り組まれたい。
- 「水源地域動態」については、苫田ダムが地域に与えた影響や地域での役割を踏まえて、ダム建設による移転などの影響を受けた人々も含めた水源地域との協働により、ダム周辺での生活環境の保全や、自然環境・周辺施設の活用が促進され、地域が活性化されるような取り組みを行われたい。